

群馬大学職場紹介



令和3年7月21日（水）



徽章とロゴマーク



■ 徽章 (1949(昭和24)年10月1日制定)

周囲は群馬県の象徴である名勝赤城、榛名、妙義の上毛三山を浮き彫りさせて大学を囲み、群馬大学の象徴としています。



■ ロゴマーク (2006(平成18)年4月1日制定)

群馬大学の英頭文字「G」をモチーフに緑と青で豊かな自然環境を示し、学生の成長と活躍をイメージして、新しい未来の創造と、社会へ貢献する大学の存在感を表現しています。

群馬大学
GUNMA UNIVERSITY

キャッチコピー



「群を抜け 駆けろ 世界を」

学生及び教職員の公募の中から、平成30年に決定。「学生が群大で思い切り学びたいと思える勢いのあるキャッチコピーを作りたい」との想いを込めて医学部の学生が作成した作品。

群馬大学の概要

- 学部数：4学部、5研究科
- 学生数：5,037名
- 教職員数

常勤：2,388名

(うち事務系職員 364名)

非常勤：1,052名

【事務系職員内訳データ】

☆平均年齢 41.5歳

☆女性職員の割合 約43%

※令和3年5月1日現在

人事交流



群馬工業高等専門学校



国立赤城青少年交流の家



放送大学群馬学習センター

研修所



伊香保研修所



北軽井沢研修所

事務組織相関図



①総務・人事

◎主な業務

- 大学、学部等に関する事務の総括、連絡調整
- 教授会等の会議運営
- 教職員の任免、給与、手当、労務管理、福利厚生 等

②財務

◎主な業務

- 予算要求、執行管理
- 物品購入、資産管理
- 財務諸表、決算報告書の作成 等

③学生支援

◎主な業務

- 入学試験、履修指導、成績処理
- 学生生活及び就職活動に対する指導・助言
- 国際交流に関すること 等

④研究推進

◎主な業務

- 学外教育研究機関との連携
- 科学研究費補助金等の採択支援、共同研究・受託研究等の受入れ
- 生涯教育、公開講座 等

⑤医事・医療支援

◎主な業務

- 診療報酬請求、医療情報管理
- 患者の受付、案内
- 地域医療連携支援 等

待 遇

- 給与: 初任給 月額187,666円(大卒)~
※学歴や職歴により異なる場合もあります
- 諸手当: 住居手当、通勤手当、扶養手当、超過勤務手当等
- 賞与: 年2回(6月、12月)
- 休日: 土曜日、日曜日、祝日、年末年始
- 休暇: 年次有給休暇、夏季休暇、夏季一斉休業等

キャリアアップ

大学内の様々な業務を経験しながら、昇進していきます。採用されると一般職員としてキャリアをスタートし、勤務成績等により上位のポストに昇進していきます。

(一般職員 → 主任 → 係長 → 副課長 → 課長 → 部長)

主な研修



【階層別研修】

- ・ 新規採用職員研修、係長級職員研修

【基礎研修】

- ・ ハラスメント防止セミナー、LGBTs講演会、個人情報管理研修

【スキルアップ研修】

- ・ タイムマネジメント研修、チームビルディング研修、職場風土改革研修、英語研修（e-learning）、大学経営戦略セミナー、広報セミナー、GLAST隊員（群馬大学災害時業務調整担当職員）養成研修

求める人材像

① 「協調性のある方」



② 「変化に対応できる柔軟な発想を持っている方」



③ 「困難な事項に粘り強く取り組める方」





次世代モビリティ社会実装研究センターを設置

- 2016年(平成28年)12月設置
- 次世代自動車産業振興に資する産学官金連携イノベーションの拠点形成を目指し、次世代モビリティシステムの社会実装研究と開発及び高度人材育成を目的とする



車両整備開発室



自動運転車両の開発・整備を行うほか、施設連携企業の用意した車両などの保管や整備も行います。

管制・遠隔運転室



実証運用中の車両を監視し、必要な指示やトラブルなどの対応を遠隔で迅速に行うための設備です。

データセンター



自動運転車両の実証運用から得られる膨大なデータを集積し、分析を行う設備です。

シミュレーション室



データセンターから得られたデータから3次元映像を作成し表示することによって、自動運転時の状況の再現が可能です。これにより、新たな技術やサービスの予備実験が可能になります。

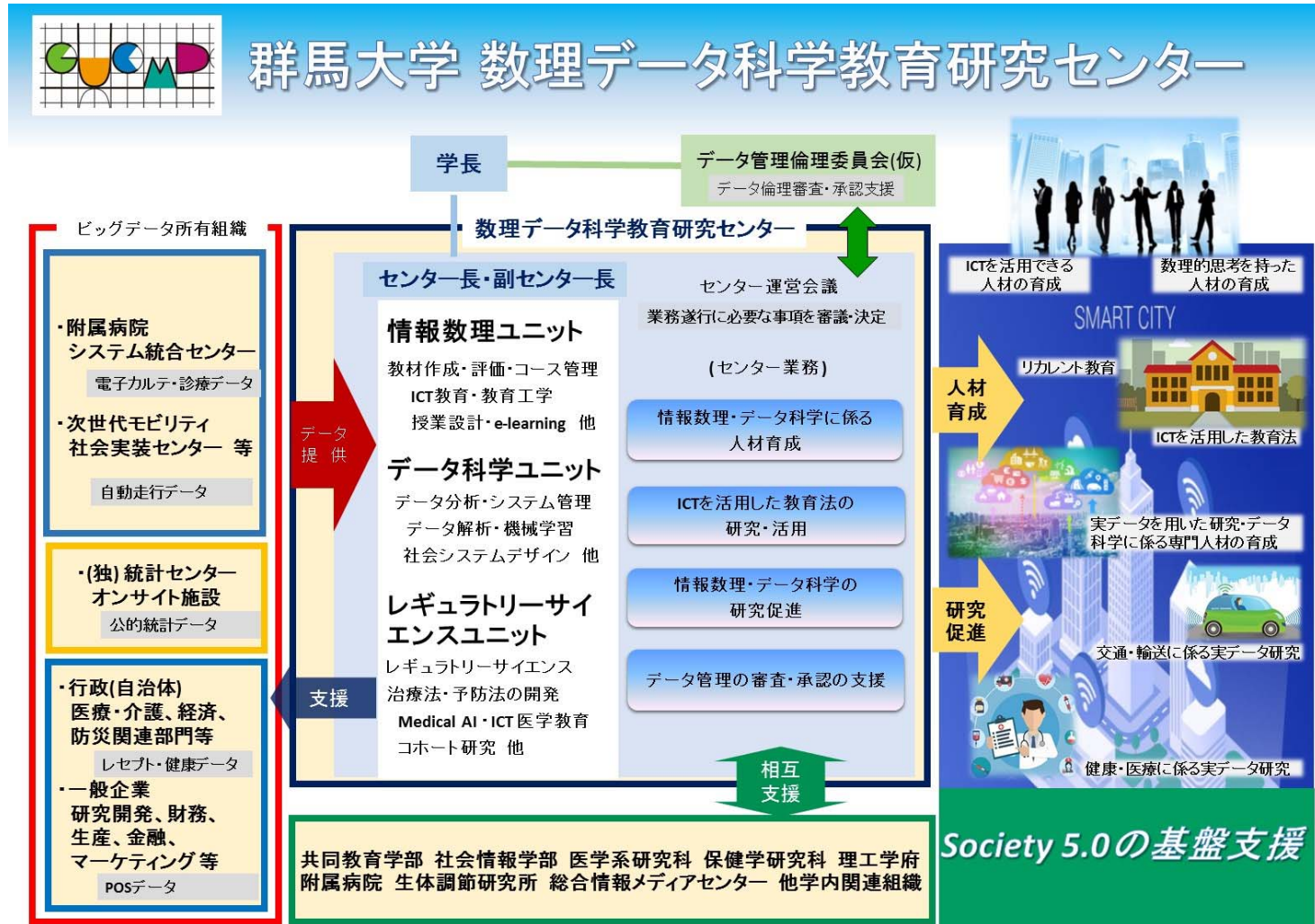
CRANTSの工事に携わりました。改修工事と異なり新営工事は進め方ややり方が全く異なり、電気供給がないエリアにライフラインを延伸させる作業は苦心したものの刺激的でした。20名程度の部署なので、意見交換もしやすく、若手の意見やアイデアを吸い上げてくれるのはスモールコミュニティの良さだと思います。 Sさん(施設・電気)





数理データ科学教育研究センターを設置

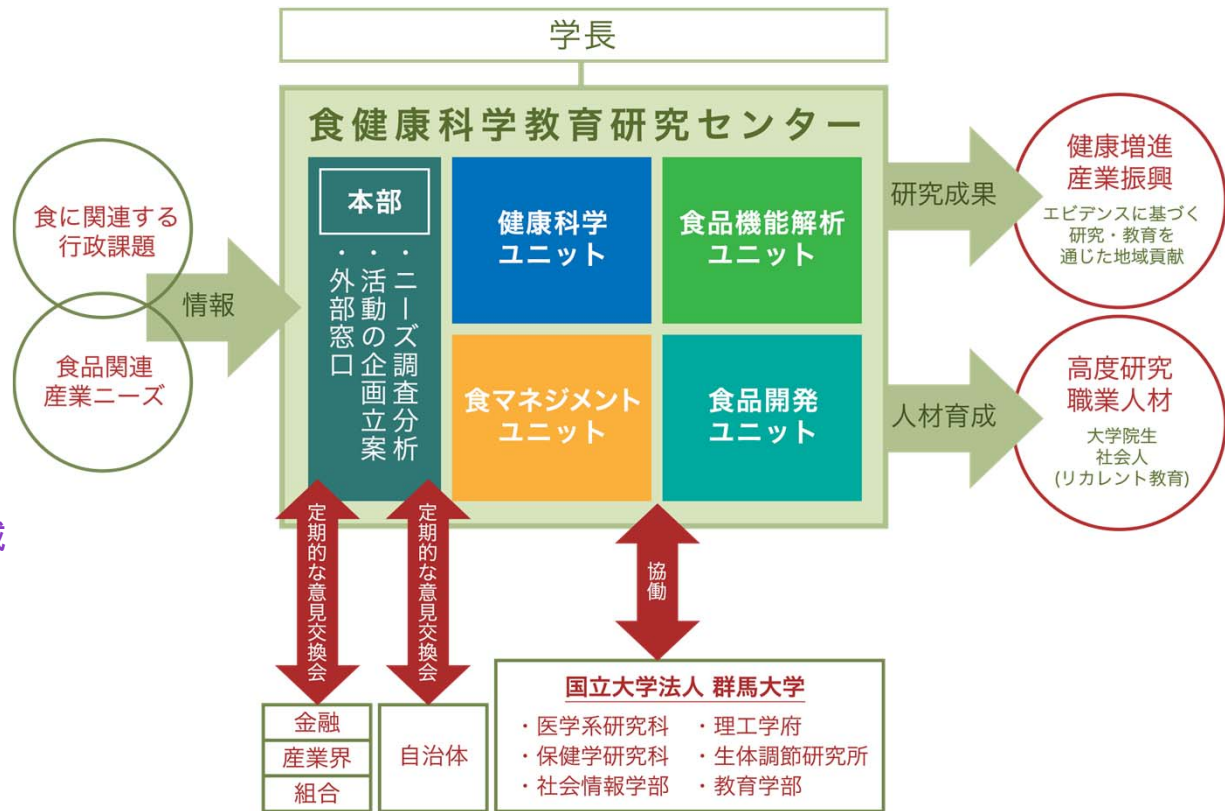
2017年(平成29年)12月設置。超スマート社会(Society 5.0)の基盤支援に向けて、情報数理及びデータ科学を中心とした情報学分野の教育を展開するとともに、これらの素養を持った人材の育成及び研究の推進を図る。





食健康科学教育研究センターを設置

- 2017年(平成29年)12月設置
- 「食と健康」に関わる研究の推進及び専門人材の育成により、大学の教育研究及び社会貢献活動等の向上に資するとともに、地方公共団体及び地方産業界等と連携して、地域産業の振興及び社会における健康増進に寄与する



昨年度群馬大学に採用され、食健康科学教育研究センターの事務を担当しています。運営会議や定例ミーティングの開催から、予算管理、物品管理、非常勤職員の採用まで、業務の幅が広く、毎日悪戦苦闘しています。常に新しいことに対して、アンテナを張っていることが重要だと感じています。Oさん(事務)



教育学部を共同教育学部に改組

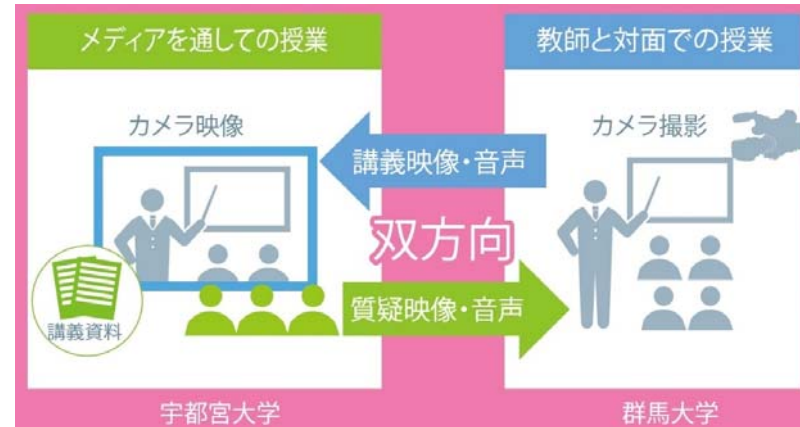
2020年(令和2年)4月改組

群馬大学・宇都宮大学の教育資源の相互活用をはじめとする緊密な連携・協力に基づいて、共同教育学部を全国で初めて設置した。

■ 新学部のポイント

- スタッフの充実で幅広く深い教育内容の授業を実施
: 双方向メディアシステムで相手大学の得意分野の授業を受講
- 学生同士の交流を通してコミュニケーション能力がUP
: 大学の枠を越えた交流
- 学校現場で求められる教育課題への対応力がUP
: グローバル社会、Society 5.0に対応する授業科目の充実
- 特別支援学校教諭の養成領域が拡大
: 5領域の免許取得が可能に

双方向遠隔メディアシステム: 両大学の教員が互いに授業を提供することにより、これまで以上に幅広く質の高い教育が受けられる



Forefront科目群: 両大学の特性、資源を相互に活用して、これからの社会に求められる資質・能力を育成する

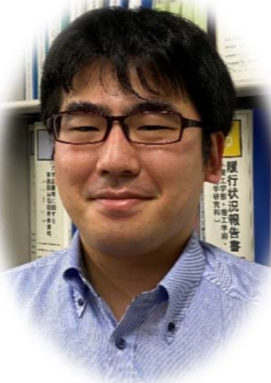
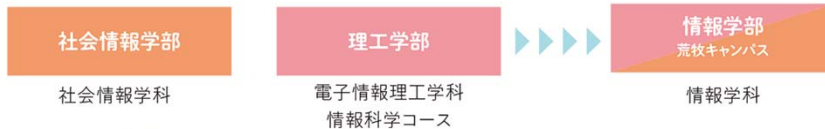


図は「宇都宮大学 共同教育学部」ウェブサイト (<http://www.edu.utsunomiya-u.ac.jp/ict/ce/curriculum.html>) より抜粋



情報学部を設置

- 2021年(令和3年)4月設置
- 社会情報学部と理工学部電子情報理工学科情報科学コースにおいて実施されてきた教育を統合し、データサイエンス分野の教育も取り入れた「情報学部」を設置
- 情報を基軸とした文理横断型の教育により、Society 5.0を支え、IoT、ビッグデータ、統計的解析手法等のスキルを持ち、人文科学、社会科学、自然科学の知識を有した人材を育成



新しい学部を設置する場合、文部科学省との事前相談を、大学設置・学校法人審議会による審査を受けます。国の文教施策や他大学の改革に係る情報の収集・分析を行いつつ、国立大学改革の方向性や群馬大学の「強み・特色」を踏まえて、新たな学部を構想します。教員と職員が連携して未来を創る業務であり、群馬大学の歴史に残る仕事に関わることができ、とてもやりがいを感じました。

Hさん(事務)





職場がキャンパスって

素敵じゃない...？